はたはた

千葉 良一 著

Vol. 17

八峰町関東ふるさと会 会報

２０２６年９月発行



峰浜塩地区の水芭蕉

第十八回総会・懇親会開催

八峰町関東ふるさと会会長　戸田　眞里



当ふるさと会会員の皆様並びに八峰町と町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より当会の活動に格別のご理解とご厚誼を賜り厚く御礼申し上げます。

さて八峰町では六月二十三日に「八峰町誕生二十周年記念式典」が行われ、私も出席させていただきました。

式典は和太鼓グループ「竜神太鼓」の力強い演奏での幕開けとなり、鈴木県知事はじめ多くの方が出席され、厳粛な中にも大変活気に満ち溢れた式典となりました。堀内町長の下、八峰町の益々の発展を確信してまいりました。

またこの機会を利用し、町の有名企業様を訪問し、会報『はたはた』への広告掲載のご協力をお願いしてまいりました。

その結果「大森グループ、秋田アルス、お母さんのお店、民宿いがわ、しらかみカフェ、やっほーファーム」（敬称略）の皆様からご協力いただくことができました。

その他にも新規にご協力いただきました多くの企業様や、これまでもずっと応援してくださっている企業の皆様には心より感謝申し上げます。

当会も町の合併から遅れて二年後には合併二十周年となります。

多くの先輩たちから引き継がれてきましたこの会を、次の世代に引き継ぐために現在の幹事たちは力を合わせて頑張っております。

二年後にはきっと素晴らしい記念行事が開催されることと思い、大変楽しみです。

いよいよ今年の総会の準備も大詰めを迎えております。

特別出演には一昨年ご出演いただきました小田嶋さんに再度お願いしました。クロマチックハーモニカの素晴らしい演奏を皆様と共に・・「あの時の感動をもう一度！」。

総会では一人でも多くの方とお目にかかれますことを楽しみにいたしております。

本日は会報『はたはた17号』をお届けできましたこと大変嬉しく思います。またHPも大変充実しておりますのでぜご覧いただきたく思います。

最後になりましたが皆様のご健勝をお祈り申し上げ、私のご挨拶といたします。

関東ふるさと会の皆様へ

八峰町長　堀内　満也



ふるさと会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、ふるさと八峰に温かい思いを寄せていただき、多大なるご支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、人口減少や耕作放棄地の増加、里山の管理不足による荒廃などにより、クマの出没が全国的に著しく増加しておりますが、当町におきましても例外ではございません。

とりわけ昨年度は、出没・捕獲数ともに過去最大規模となり、町民の安全確保のため陸上自衛隊に派遣要請を行い、警戒活動に当たってもらうなど、被害防止への協力を仰ぎました。幸いにも人身被害の発生はありませんでしたが、今後も対策の手を緩めることなく、安心・安全な町づくりに全力を尽くしてまいります。

関東地方におきましても、目撃情報が増えていると伺っております。会員の皆様におかれましても、外出の際などは十分にお気をつけてお過ごしください。

また、近年は各地で豪雨災害が発生しているほか、国際情勢の緊迫化によるエネルギー価格や物価の高騰が人々の生活に大きな影響を与えています。

このように激甚化する自然災害や情勢不安など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しておりますが、こうした中、八峰町は平成十八年の町村合併から二十年の節目を迎えました。これまで皆様に支えられながら歩んだ歴史を振り返りつつ、次の十年を見据えた新たな町政運営指針として「八峰町総合計画～八峰の新しい挑戦～」を策定いたしました。

現在、当町は人口減少や少子高齢化など、避けては通れない非常に厳しい課題に直面しております。

今後はこの総合計画に基づき、将来をしっかりと見据えた施策を積極的に展開いたします。最重要課題の人口減少対策をはじめとする諸課題の克服に向け、積極果敢に挑戦を続け、誰もが「安心して暮らし」、誰もが「活躍し活気に満ちて」、誰もが「幸せで笑顔あふれる」、八峰町の実現を目指してまいります。

結びに、八峰町関東ふるさと会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。

心の共有の場

八峰町議会議長　山本　優人



八峰町関東ふるさと会の皆様には、平素の八峰町との活動に対し、特段のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

このたび、４月の議員改選に伴う臨時会において、議員各位のご選任により議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、議会に課せられた使命の重大さを痛感し、新たな決意と信念を持って町議会の運営と町政の伸展に全力を傾注してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。今年は議員改選期に際し、八峰町関東ふるさと会との交流と情報交換のため４人の新人議員を含む全議員が出席の予定で、ご招待を心より御礼申し上げます。

また、会報への寄稿の機会を賜り、誠にありがとうございます。

懐かしいお顔ぶれと再会し、かつての街並みや学校行事の思い出に花を咲かせるひとときは、時を越えて心が通い合うような、かけがえのない時間を共有できる機会でしょう。

私たちのふるさと八峰町は、春には山肌を彩る桜、夏には清流のせせらぎと祭りの太鼓、秋には黄金色に輝く稲穂、冬には静かに降り積もる雪景色と、四季折々の美しさに恵まれています。離れて暮らしていても、ふとした瞬間に思い出すのは、あの懐かしい風景や、そこで交わした笑顔、そして温かい人のつながりではないでしょうか。

また、今年は合併20周年という節目の年でもあります。少子高齢化や人口減少、地域産業の縮小など、課題は少なくありません。けれども、こうした時代だからこそ、ふるさとの魅力や誇りを次の世代へと受け継ぎ、これまでの歩みを振り返り、先輩方が築いてこられた絆と歴史を伝承したいと思います。

ふるさと会は、単なる同郷の集まりではなく「心の共有の場」ではないでしょうか。遠く離れていても、同じ空の下でふるさとを想う仲間がいる。その事実が、私たちの人生を豊かにし、困難な時にも支えとなります。どうか皆さまには、これからも活動にお力添えいただき、ふるさとの魅力を共に発信していただければ幸いです。

会員の皆さまのご健康とご多幸、そして八峰町関東ふるさと会のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

八峰町議会議員11名　町民の代表としてがんばります

右上から
議席番号順



①議員氏名
②居住地区
③当選回数
④主担当
⑤力点を置く分野



①福士久明②石川③１回④総務民生委員⑤福祉で生きていく力がみなぎる町、産業振興で人とお金が入ってくる町、起業する人をサポートして夢が実現する町を目指します。



①若狭敏春②田中③１回④総務民生委員⑤6年前から家内と小さな鮮魚店を営み、地域に親しまれる店をモットーに、ふるさと納税でも新鮮な魚をお届けしています。



①菊地薫②滝の間③５回④総務民生委員長⑤ふるさと会の皆様が、自信をもって誇れる八峰町を目指し、全力で取り組みます。

①山本昌子②八森③１回④教産建委員⑤住民対話。議員発言がより多くの住民の利益につながっているかどうかは対話あってこそ成り立つと考えます。



①薩摩晃大②石川③１回④教産建委員⑤地域産業の活性化と伝統文化の継承を進め、子育て世代も安心な笑顔あふれる八峰町を目指します！



①笠原吉範②カッチキ台③４回④副議長⑤町の最大の課題は人口減少である。あらゆる手を尽くし、社会減の抑制と移住対策に取り組まなければならない。



①須藤正人②岩館③６回④教産建委員⑤ふるさと会の皆さんが大手を振って帰れるよう豊かな自然を大切にする持続可能な町をつくっていきます。



①皆川鉄也②水沢③５回④総務民生委員⑤皆様のふるさと八峰町、大事な思い出あふれる原風景を守るため、米作りに励みながら農業振興に頑張っています。



①伊藤一八②椿台③２回④教産建副委員長⑤世代と世代をつなぐ橋渡し役として、町民の声を町政へ届け、未来につながる町づくりに取り組んでまいります。



①腰山良悦②岩館③５回④教産建委員長⑤人口減少対策、産業振興などに取り組む。誰もが幸せ感じる、誇りに思える、そんな地域づくりに努めたい。



①奈良聡子②中浜③３回④総務民生副委員長⑤小規模でも若者の感性に響く仕事やサテライトオフィスの誘致に取り組み、人口減少のスピードを緩めたい。

広報『はっぽう』でみる　八峰町の出来事

広報「はっぽう」の申し込みは、八峰町役場企画政策課広報情報係まで　　令和7年8月号～令和8年8月号
TEL.0185-76-4603　FAX.0185-76-2113　　年間購読　2,000円（毎月1回発行）



令和7年7月6日　八峰町消防操作法大会　小型ポンプとポンプ車の二つの部で行われタイムや動作の正確性を競った。



7月27日　あきたの仕事と暮らし体験「漁師体験」　将来の担い手や関係人口の創出につなげるために開催。



8月　お盆行事　石川地区で400年の歴史を誇る八峰町無形民俗文化財の奴踊り・駒踊りが奉納された。



10月4日/12月5日　町長との子育てミーティング　八峰中・八森小・峰浜小の父兄と意見交換　※こども園は6月に開催。



10月11日～12日　八峰んめものまつり　餃子フェアでは、八峰町からレンチナス奥羽伊勢が椎茸餃子を販売。



令和8年6月23日　八峰町誕生20周年記念式典　文化ホールにて鈴木秋田県知事はじめ関係者約100名が出席。

町の若い起業家紹介

白神から、日本を代表する椎茸を――八峰町の挑戦

レンチナス奥羽伊勢　代表取締役

伊勢　隼人（八峰町石川在住）



白神山地のふもと、八峰町で椎茸を育てております、レンチナス奥羽伊勢の伊勢隼人と申します。

ふるさと会の会報に一筆寄せる機会をいただき、心より感謝申し上げます。

私が椎茸に本気で打ち込むのは、この一本の椎茸に、まだ誰も知らない可能性が眠っていると信じているからです。

世界自然遺産・白神山地の澄んだ水と、丹精込めた菌床。そこへ毎日できる限りの愛情を注ぎ、「椎茸の常識を覆す」ことだけを考えて育てています。

焼いた瞬間に旨み汁があふれ、肉厚の身をひと口頬張れば、「椎茸ってこんなに美味しかったのか」と誰もが驚く。その一言のために、一本一本と向き合う毎日です。

こうして磨き上げたのが、肉厚で香り高い自慢の「黒椎茸」です。中でも最高峰の『黒煌(こっこう)』は、帝国ホテル・杉本料理長のコース料理に使われ、帝国ホテルが手がけるオンラインモール「ANOTHER IMPERIAL HOTEL（アナザーインペリアルホテル）」でも販売されています。日本の食の頂点に立つ方々に選ばれたことは、白神の椎茸が世界に通用する証だと、私たちの何よりの誇りです。

もちろん、苦労は尽きません。天候にも菌にも決まった正解はなく、思うように発生しない朝もあります。それでも、お客様が食卓で笑顔になる姿を思えば、「また明日も、と胸が熱くなる」。この繰り返しこそ、何よりのやりがいです。

私には、譲れない夢があります。この八峰町から、日本を代表する椎茸農家になること。そしていつか、世界が認める椎茸を、この町から届けることです。

農業は、地味で報われない仕事などではありません。知恵と情熱を注げば、若者が憧れ、故郷に戻り、胸を張って働ける――そんな希望の産業に必ず変えられると信じています。

社員一人ひとりが誇りを持ち、夢と希望にあふれる会社をつくりたい。この地に生まれ育った私だからこそ、白神の恵みを世界一の価値に変え、ふるさとに恩返しがしたいのです。

どうかこれからも、八峰町から羽ばたく椎茸を、温かく見守っていただければ幸いです。

＊編集部注：帝国ホテルでは『黒煌』は「白神山地の湧水を吸って育つ3万分の1の奇跡の椎茸」と紹介されています。

町の若い起業家紹介

漁師から食卓へ、八峰町の魚を届けるｆｉｓｈｄｏｏｒ

ｆｉｓｈｄｏｏｒ代表社員

菊地陽一（八峰町岩館在住）



秋田県八峰町岩館を拠点にする、漁師自らが魚を届ける会社「合同会社ｆｉｓｈｄｏｏｒ（フィッシュドア）」。

私たちは、八峰町の海で日々漁をしながら、獲れた魚をより多くの方に味わってもらいたいという思いから２０２１年８月に会社を設立。現在、従業員数は役員を含め３人です。

これまで漁師は、水揚げした魚を市場へ出荷するだけでした。そこで値段が決まり、消費者のもとへ届けるのは流通業者任せでした。「自分たちが獲った魚を自分たちの手で直接届けたい」。そんな思いがｆｉｓｈｄｏｏｒ設立のきっかけです。

●直接販売の特徴

ｆｉｓｈｄｏｏｒでは、八峰町の豊かな海で獲れた鮮魚を、個人のお客様へ直接販売しています。漁師だからこそ分かる魚の旬や状態を大切にし、その時期に一番おいしい魚を届けられるように心掛けています。県外のお客様からのご注文が多く、東京・品川のアンテナショップ「あきた美彩館」にも出荷。



秋田の魚はおいしいと認知していただけるようになってきました。

●輝サーモンの取り組み

八峰町の魚の魅力をさらに広げる取り組みの一つとして、２０２１年に始めた「輝サーモン」にも携わっています。輝サーモンは、秋田県で初となる養殖サーモンとして、白神山地の雪解け水を思わせる豊かな水環境の中で飼育。鮮やかな赤身が特徴で、秋田ならではの新たな水産物として期待され、人気を博しています。年間のサーモンの出荷数は、１５００尾前後で、数回に分けて出荷しています。

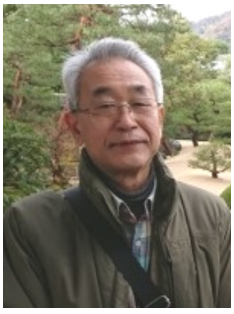
天然魚を獲る漁師の仕事に加え、新しい養殖業に取り組むことで、八峰町の海や魚の魅力をより多くの人に知ってもらいたいと考えています。「漁師から直接食卓へ」。それがｆｉｓｈｄｏｏｒの目指す形です。

●今後の展望

これからも八峰町の漁師として海と向き合いながら、春はサーモン、秋はスルメイカ、冬は鯛やボタンエビなど、地域の魚の魅力を発信し、魚を食べる人と漁師をつなぐ存在になれるように取り組んでいきます。

明治時代のある灯台守のエピソード「素晴らしき能代山本の地を称えそして」

斉藤　里美（神奈川県海老名市在住）
（沼田出身）



自分の秋田への思いは、遠い若い頃、故郷と能代山本の良さを助言してくれた会社先輩の話で、その方のご祖父様のエピソードです。そのエピソードから、大切なふるさと秋田への思いを学びました。

現役時代、会社は、全国から数多くの社員がおり、特に北海道や九州は多く、社内には、県毎に幾つかの県人会があり、秋田県も数十人の会員がいました。しかし自分は暫く、県人会には、入りませんでした。

ある時、県人会のトップ（能代市出身の会社役員）とお話をする機会があり、そこで、その方のご祖父様のお話しを聞くことができました。ご祖父様は、神奈川県の出身で、ご先祖も神奈川県とのことでした。ご祖父様の職業は、「明治時代の灯台守」とお聞きしました。明治時代の灯台守は、厳しい職業で、自然環境の厳しい中で全国の岬や島に家族で赴任する大変なお仕事。

・・・因みに灯台守とは、「明治の初期から平成18年（２００６年）の完全無人化まで、人里離れた岬や島に家族で赴任して、海と船舶の航行安全を守るため、３６５日休まずに明かりを灯し続ける使命感の強い職業」・・・

ご祖父様は、「定年後を何処で」と、現役時代の赴任先を巡らし、風土と四季の厳しさ、優しさ、人々が心に一番想いが深かった能代山本の地を称え、その地に落ち着く決断を選択された、というお話でした。

自分は、このエピソードを聞いた後に「ふるさと秋田の価値観」を思うようになりました。県人会にも参加し、いろいろな場面で秋田を「誇り」に思うようになりました。

また、先人の偉業には、森林伐採を管理した「留め山」の由来、「青森秋田スーパー林道中止」、「世界遺産白神山地１９９３」等が挙げられます。

灯台守のエピソード、留め山の由来、スーパー林道中止、世界自然遺産等が現在の八峰町の風土に繋がっていると感じています。

自分も定年後、都内で旅行会社を経営しています。

これからも故郷「八峰町」「能代・山本」そして「白神山地」を誇りと思い、紹介して参りたいと考えています。

椿台で過ごした日々

小玉　仁（東京都武蔵野市在住）
（椿台出身）



私は椿台の発盛鉱山の社宅で生まれ育ち、今年後期高齢者の仲間入りをしました。年齢を重ねるにつれふるさと八森で過ごした日々が懐かしく思い出されます。

観海小学校時代の一番の思い出は、秋の「なべっこ遠足」です。同級生みんなで滝ノ間の海岸へ行き、それぞれが持ち寄った食材で鍋を作って食べました。友達と囲んだ鍋の味は、今でも忘れることができません。

八森中学校では、授業が終わると担任の先生と一緒に椿台の海へ魚釣りに行くことがありました。先生と生徒が気軽に海へ出かけられる時代で、今思い返しても懐かしい思い出です。

高校は能代高校へ進学し、毎朝八森駅から蒸気機関車に乗って通学しました。朝六時半頃の列車に乗れば授業に間に合うため、眠い目をこすりながら通ったものです。今では考えられませんが、走り出した列車に飛び乗ったこともありました。

数年前、久しぶりに椿台を訪ねました。かつて多くの人が暮らしていた場所も、今では家が数軒残るだけで少し寂しく感じました。しかし、その夜は同級生と、きりたんぽ鍋を囲みながら昔話に花を咲かせました。楽しいひとときで、あらためて同級生とのつながりの大切さを感じました。

翌朝、早起きをして椿台の海岸を歩きました。黒砂の浜辺と透き通った海は昔と変わらず美しく、また、発盛鉱山の海辺へ続く柱状節理の岸壁は見事で、久しぶりに感動しました。

現在は東京都武蔵野市に住み、仕事を引退してからは市の体育館で卓球を楽しんでいます。市内リーグにも所属し、試合にも参加しています。チームの最年長は90歳を超えていますが、とても元気で、その姿にいつも励まされています。私自身も健康を大切にしながら毎日を過ごしています。

八峰町関東ふるさと会には、まだ「八森会」と呼ばれていた三十年ほど前から参加しています。毎年、きりたんぽ鍋を味わいながら白瀑を飲み、ふるさとの話に花を咲かせる時間を楽しみにしています。同級生と再会し、懐かしい思い出を語り合えることは何よりの喜びです。

高峰山とブナの植林

大木　教子（東京都多摩市在住）
（大沢・岩館出身　旧姓　石井）



父は駐在所勤務でしたので、いわゆる転勤族かな。塙川地区（大沢）には、生まれた頃と小学校（塙川小）の３～５年生の時の２度住んでいました。もちろん生まれた頃の記憶はないので、小学生の頃の思い出がほとんどです。

転校生なのですぐには馴染めず、友達も少なかったですね。それでも親しい友達ができると良く家に遊びに行きました。

特に石川の山谷律子（旧姓島津）さんの家にはよく歩いて行きました。片道30分くらい、村のシンボルの高峰山を仰ぎながら歩いた記憶が残っています。

八森、岩館には能代北高時代にすんでいました。汽車通学は良き思い出です。

その後、20代でＡＮＡのスチュワーデス（現在のＣＡ）として、国内便とチャーター便に。30代から定年までは地上職として勤務でした。

ある日、奇跡の出会いが訪れます。八峰町でブナの森づくりに取り組んでいる「海と川と空の塾」（佐々木正憲代表）が企画している高峰山でのブナの植林に参加する機会がありました。当時、ＡＮＡも八峰町のブナの植林事業に協賛していました。

２０１７年の６月に、私も友人と３人で参加することになりました。県内外から多くのボランティアの皆様が参加されました。

澄んだ自然の空気の中での植林は、楽しい思い出となりました。

特に石川の集会施設で「だまこもち」に舌鼓を打ちながらの親睦は忘れられません。

実は出発式の前に遠方からの参加者の紹介があるのですが、「茨城県の北川さん」との、アナウンスに「もしかしたら？」と思い尋ねてみると、なんと小学校時代の同級生の北川雅夫さんでした。実に59年ぶりの感動の再会でした。

北川さんとの再会で、「八峰町のふるさと会」にも初めて参加。懐かしの山谷律子さんとも再会することができました。因みに22年間活動を続けた「海と川と空の塾」も２０１８年に解散されたそうです。

現在、私は地域の皆様と合唱や舞台などを楽しみながらも、日々のんびり過ごしています。どうやら多摩の水が合っているようです。

秋田での想い出

藤田　辰夫（神奈川県横浜市在住）
（椿台出身）



八峰町関東ふるさと会を知ったのは、横浜弘明寺商店街のセブンデイズを覗き、ふるさと会の役員に出会ったことが最初でした。その後、同期生からの誘いで総会・懇親会への出席を重ねています。

小生、生まれは椿台発盛鉱山の社宅で、観海小学校、八森中学校一年まで過ごし、中二からは能代二中へ転校しました。観海小学校までは三十分以上歩いて通いました。冬には日本海からの風雪が激しく、鉱山内を通ることを許されていました。小学二年の時、岩館村と八森村が合併し八森町となり、お祝いの行列をした思い出もあります。

ひどい話ですが、海岸でフナ虫などの餌なしでフグが釣れた時には、岩に投げつけてお腹を爆発させて遊んでいました。

糠森山にはよく登り、山頂からは海や山を眺めたり、鳥海山に向かって「ヤッホー」と叫んだり。冬には田んぼでスケートしたり、下椿の海に向かってそりに乗って滑り降りたり。夏には、チゴキ灯台周辺へ友達家族に連れて行ってもらい、ワラビ取りをしたこともありました。

岩館小、観海小、東八森小から入学する八森中では、糠森山でクラスで昼食を食べたり、冬の体育の時間に下椿まで走り、先生がハタハタをもらって戻ることもありました。

また、クラス担任（国語）に百人一首を教わったのがきっかけで、今でも覚えている句が幾つかあります。

中二になり家庭の都合で、能代二中へ転校。一クラス五十人で十クラスある中学校でした。家計の助けにと校長の紹介で、授業が終わると木工所のアルバイトをしていました。

中学校の思い出としては、やはり修学旅行かなあ！

青森港から青函連絡船に乗り函館へ。函館山からの景色は今でもしっかり覚えています。湯の川温泉へ一泊し、二泊目の洞爺湖温泉では、昭和新山に登り、翌日札幌へ。

札幌では、大通公園のテレビ塔から見た町の景色も忘れられないなあ。広い北大構内も歩きました。

秋田での思い出はたくさんあり、今でも小・中当時の知人・友人とは年数回会いますが、ふるさと会への出席者も含め、年々人数が少なくなってしまいました。

東京湾から故郷を想う

平沢　正輝（東京都足立区在住）
（小入川出身）



大学卒業を機に秋田を離れ、早十年が経ちました。秋田で過ごした時間を、東京で過ごす時間が追い越すのももうまもなくです。東京の中では過去に思いを馳せる余裕も無く、日々を生き残るのに精一杯の毎日です。そんな中、ふと秋田の事を思い出したいときは、東京湾に遊びに出ていきます。

「プルースト効果」という言葉がありますが、どうやら香りと記憶の結びつきは強いそうで、海の香りを感じると、どうしても秋田で過ごした日々の事を思い出します。実家は日本海を一望できる小入川の川下にありました。ＪＲ東日本のポスターにも使われている、あの橋の麓です。駅からも遠く、通学にも不便な場所だと当時は嘆いておりました。ですが、いつも目の前に海があり、常に磯の香りがふんわりと漂うあの場所は、今にして思うとなかなか恵まれた場所だったのかもしれません。

本当に大切な事は、無くなってから初めて分かるというのはよく言われる話です。秋田で過ごす時間や、親の作ってくれるご飯は、当時私にとっては当たり前のものでした。東京に出て、暮らしの大部分を一人で担うことになり、その当たり前が当たり前で無かったことに気づくことになりました。

東京に出てから、新しくはじめた事の一つに短歌があります。創作活動は、自分の過去を認める事だというのが持論です。どんな過去も、今となっては自分を形作る大切な時間であったと、自分自身を認める行為こそが創作なのだと思っています。

短歌を詠む際には、秋田で過ごした日々、日本海の荒々しい波と潮の香りが今でも鮮明に思い出されます。東京の忙しい日々の中で、どうしても秋田に戻りたくなったとき、東京湾に出かけては、その思いの残滓（ざんし）を探しているのです。

漁り火のように揺れてさ東京の、
今　現在（いま）　いまも明るい夜を

東京で流れる時間は、秋田の何倍も早く感じます。いつまでも夜は明るくて、時には自分の居場所を見失いそうになることもあります。そんな中でも海に浮かぶ漁火のような明かりを心にともし、波に揺られるようにしなやかに生きていきたいと、そう思います。

＊編集部注：小入川の鉄橋は、『はたはた16号』の表紙にもなりました。

懐かしきふる里

大髙　正克（東京都板橋区在住）
（八森第一出身）



高校を卒業し、数日後、夜行列車で上野駅に着いてから、早いもので五十余年が過ぎました。

当時は、高度成長期で忙しい日々を送りながらも、充実した時を過ごしておりました。そんな忙しい日々の中でも、十九歳から始めた登山に夢中になり、休みの時には北アルプス後立山連峰の登山に明け暮れ、山頂から見おろした雲海、下界の素晴らしさと山の雄大さに胸踊らせていました。

結婚を期に登山を諦め定年まで無事に仕事を勤め上げ、その後現在まで十余年に亘り後進の育成に携わる事になりました。仕事の重みを感じつつも、休みには、東京湾や外房で鯛や平目や河豚の船釣り、四十歳でテニスサークルを結成し、地元の仲間と楽しく試合をするなどして充実した人生を送っております。

上京後には何度か同級生会の便りが届いていましたが、仕事が忙しく、また引越しを重ねたこともあって、中々出席する事が叶わずにいたところ、数年前に便りが届き、八峰町や同級生の顔が思い浮かび、およそ五十年ぶりに帰郷し同級生と会う事ができました。

皆の顔を見ると上手に年をとり、いい人生を送って来たのだなと感じつつも、私自身を含めて、今まで大きな病気をする事もなく元気でこられたことに感謝したものでした。

先日、同僚が東北旅行に行き五能線に乗って来たと楽しそうに話したのを聞き、「そうでしょう、海岸線ギリギリに走る路線はなかなかないよ、鉄ちゃんには最高のところだよ。冬はハタハタという魚が獲れて美味しいよ・・・」等、その他の風光明媚な場所や名物のきりたんぽ、じゅん菜などを紹介したところ、「次は教えてもらった場所を観光しよう。そして是非とも、今度は季節を変えて旨いものを食べながら旅してみよう。」と意気投合。仕事を終えてからも居酒屋でお互いのふる里談議に華を咲かせ、八峰町の海のにおいや山並みを思い出しています。

板橋区に住んでから間もなく半世紀、何処かふる里のニオイのする所でしたが、今は多くのマンションが建ち、ふる里が遠くなっていくようで、いつまでも八峰町が近くにあるようにと思うばかりです。

ふるさと納税のご案内

●**申し込み方法**　ふるさと納税ポータルサイト：ふるさとチョイス／さとふる／楽天ふるさと納税／ふるなび／ふるさとぷらす／JREMALLふるさと納税／モンベル／ふるさと納税百選／まいふる／Amazonふるさと納税／JALふるさと納税／ANAのふるさと納税／まん福、の各サイトからお申し込みください。
または、**八峰町役場企画政策課(電話：0185-76-4603)**へ連絡すると、後日返礼品カタログと申込書、郵便振替用紙が郵送されます。

●**八峰町の寄附金実績**　令和7年度の寄附件数は3,511件、寄附金額は75,729,900円でした。

●**寄附金の活用について**　令和8年度は、令和7年度に引き続く「教育ICT環境整備事業」「子育て世帯負担軽減事業」に活用予定です。

～ 新鮮食材　全国発送いたします‼ ～

水木食品ストアー



インスタグラムで
日々更新中♬
@haruka_mizuki

〒018-2501
秋田県山本郡八峰町峰浜水沢字水沢６７－１
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０１８５－７６－２０３１
メ　ー　ル　mizuki728@hotmail.com
ホームページ　https://r.goope.jp//mizukistore
◆八峰町のふるさと納税に「きりたんぽ鍋セット」他協賛しています。
◆ご注文はメール・ホームページからお申し込みください。



五のぎばさ
株式会社 **大高食品**
代表取締役　大髙　幸陽
〒018-2608
秋田県山本郡八峰町八森岩館向台108-7
ＴＥＬ　0185-78-2610
ＦＡＸ　0185-78-2907

合同会社　やっほ～ｆａｒｍ
代表　越前谷　淳
旧笠原果樹園を引き継ぎました
秋田県八峰町のちっちゃな農園
白神山地の麓で「カモミール」と「梨」を育てています
ほんのり甘くてやさしいカモミールティーと、ひと口食べたらにっこり笑顔になれるようなおいしい梨を田舎のちいさなまちからお届けします
〒018-2674　八峰町八森字上家後143-1
電話：070-5473-2525
インスタグラム
https://www.instagram.com/yahho__farm/reels/





八峰町ふるさと納税
返礼品協賛店

代表　若狭　敏春

秋田県八峰町にある、新鮮な海産物の加工販売を行っているお店です。
目玉商品として、バイ貝、タコ、サザエや魚の煮つけ等販売しております。

定休日：毎週火曜日
営業時間：9:30～18:00
※時間外でもご連絡いただければ商品ご用意いたします。

〒018-2509
秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字上釜谷11-10
電話　090-7029-5715
ホームページ　https://r.goope.jp/okaasannoomise/

首都圏秋田県人会連合会行事案内

◆第63回芸能大会



期　日：令和8年10月17日（土）10:30～17:00
会　場：文京区役所文京シビックセンター（小ホール）
　　東京メトロ　南北線、丸ノ内線
　　「後楽園駅」下車、徒歩1分
内　容：会員等による民謡、歌謡、舞踊などの披露
　※八峰町ふるさと会会員の
　　本多義春さん、三浦博さんが
　　歌謡部門で出演します。

入場無料
申込不要

問合せ先
八峰町関東ふるさと会会長
戸田　眞里
電話：090-9816-5093

八森の新鮮な魚介類をお届けします

有限会社
梅丸漁業
代表取締役　加賀谷　弘



〒018-2624
秋田県山本郡八峰町
八森字横間台26
TEL/FAX　0185-77-2126

魚介類販売業
合同会社fishdoor
秋田の魚を
全国のご家庭へ



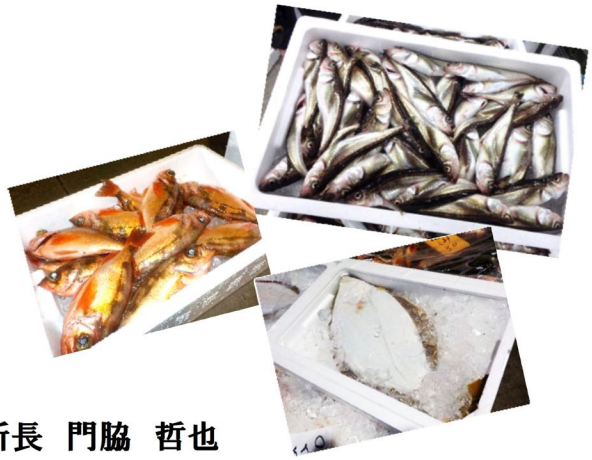


〒018-2621
秋田県山本郡八峰町
八森字茶の沢141-13
tel　080-1837-1165
（販売担当：千葉）
e-mail
m.chiba
@fishdoor.jp
HP ⇒ fishdoor

秋田県漁業協同組合
Fisheries Cooperative Association of Akita

代表理事組合長　清野　忠春

北部支所　TEL　0185(77)2255
　　FAX　0185(77)3387
〒018-2626
秋田県山本郡八峰町八森字横間156番地先
支所長　門脇　哲也



日本海と白神山地が出逢う宿
海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で
心と体を癒してください



ご宿泊
◦美しい景色を一人占め
◦特別な時間をゆったりと過ごす
八森いさりび温泉

ハタハタ館
ホームページ：http://www.hatahatakan.jp/
秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地
TEL：0185-77-2770(代)

八峰町関東ふるさと会

第17回総会・懇親会スナップ

2025年11月16日（日）於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。
当会ホームページでご覧ください。
八峰町ふるさと会 で検索、または右記ＱＲでホームページにアクセスし、
メニュー → ふるさと会について → 総会写真アルバム → 年度選択 でご覧ください。


皆川議長乾杯発声


佐々木所長挨拶


戸田会長挨拶


堀内町長挨拶


菊地会長挨拶


朝早くからの会場準備


藤井社長のフルート演奏


町の特産品販売も繁盛です


佐々盛会の皆さんによる民謡披露


やはり、きりたんぽは一番人気


塙川中学校同級生４名と同地区の仲間たち


スマホでのホームページ検索方法説明



八森中学校、同期の垣根を越えた仲間たち



八森中学校11・12期生の仲間たち



八森中学校20期生とその仲間たち



八森中学校25期生とその仲間たち



抽選会で会長賞をゲット



今年もかわいいお嬢さん達がお手伝いの抽選会



沢目中学校S45年卒業生の仲間たち

大森グループ
代表　大森　三四郎

”郷土を愛し、地域に尽くす”

大森グループ会社一覧

建設事業　大森建設（株）、（株）ダイニチ、（株）伊藤羽州建設、三商物産、能代中央生コン（株）

環境事業　風の松原自然エネルギー（株）、能代ＦＲＣ有限責任事業組合、
（株）ノック、白神ウインド合同会社

その他　beach（株）、（株）親孝、（株）八森電子デバイス、テクノクイーン（株）、（株）福八

所在地　〒016-0171　秋田県能代市河戸川字北西山48番地1
TEL:0185-54-3358　　ホームページ　https://www.om346.co.jp/company/

果樹農家のレストラン
しらかみカフェ
Shirakami Cafe
Farmer's Restaurant



白神山地を望みながら
ランチタイム＆ティータイム
●営 業 時 間 /11:00～16:00
ランチタイム/11:00～14:00
●定休日 /【火曜日】

〒018-2501
秋田県山本郡八峰町峰浜字家の下谷地38-4
TEL/0185-76-3715
ホームページ
http://www.akita-gt.org/eat/restaurant/shirakamicafe.html

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物
きりたんぽセット

地方発送承ります

10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

申し込みご予約は
TEL. 0185-76-2529 FAX. 0185-76-3156
〒018-2507
秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面17
レストラン 峰
ホームページ http://www.shirakami.or.jp/~mine/

お薬のこと、健康のこと … etc
何でもご相談ください！

皆川薬局

八峰町峰浜水沢字稲荷堂後120-6
TEL.76-2052・FAX.76-2199
営業時間 8:00～18:00／休業日 日曜日・祝祭日

農家民宿
花みずき
～笑顔と真心～
一日一組限定のお宿です
東能代駅もしくは向能代駅までの
送迎があります



八峰町産生薬のキキョウ根と
こだわりの原材料を使った
おかず味噌を販売中です

〒0185-2505
秋田県山本郡八峰町峰浜内荒巻家ノ上41
Tel:0185-76-3778 Fax:0185-76-2954
e-mail:motenasi.jun.susiume@ezweb.ne.jp
http//www.junko-hanamizuki.com/

お墓の施工・戒名彫刻・リフォーム・お掃除
・お参り代行・墓じまい等、お墓のことなら
お気軽にご相談ください。



あなたの想いを石に刻む 想刻 Sou Koku
(株)伊藤石材店
〒018-2644 秋田県山本郡八峰町八森字椿台149-3
TEL/FAX:0185-77-3425
Eメール:itosekizai-kazu@shirakami.or.jp

農家のパートナー 小物農機・販売サービス
アシザキNOUKI
代表 芦崎 達美
〒018-2504
秋田県山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21
TEL・FAX 0185-76-2884
自 宅 0185-76-2331

暮らしの難儀事、不動産の
困り事ありませんか？
遺言書の作成、相続の手続き、官公庁への申請書類、契約書の作成、車のナンバー変更、成年後見の手続き、空家・空地の賃貸や売買、空家の解体などの相談所です。相談は無料ですよ。
●工藤金悦行政書士事務所
携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-77-2670
住所：八峰町八森字浜田171
●はっぽう宅建紹介
携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-74-6110

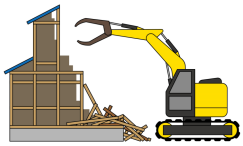


虹のホール クオーレ (株)JA山本葬祭センター
能代市字五雲岱16-3 TEL.0185-54-3004

□ 家屋解体・クレーン工事ほか
お気軽にお電話ください。

有限会社 丸伸重機

代表取締役　工藤　栄（八峰町椿台在住）



〒016-0171
秋田県能代市河戸川字南西山168-1
ＴＥＬ　0185-55-2200
ＦＡＸ　0185-53-2380

社訓

・Question the unquest ionable（定説を疑え）
・Always lead never follow （先行せよ、後追いするな）
・Think Big （大きく考えよ））

東亜測量設計

代表取締役　奈良　一男

本社　〒016-0161
秋田県能代市字松長布346番地19
ＴＥＬ　0185-54-7949
ＦＡＸ　0185-54-5050
E-mail　toa3@shirakami.or.jp

ホームページ

地域と共に！

Smart Eco Life Akita
SELAグループ
SELAシロキ

Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

病院からもらった処方箋の事など、
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧にご説明をいたします。



LINUS PHARMACY
ライナス薬局

TEL.0185 - 70-4160
FAX. 0185-70-4170八峰町八森字古屋敷13-6

月～土／朝8:00～夜7:00
休日／日・祝日

白神の海と大地の夢を育む
白神八峰商工会

会長　大森　三四郎
秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3
TEL:0185-77-3161　FAX:77-3008

Shirakami 白神 秋田・八峰町

ホームページ　https://r.goope.jp/srb-05-34/

あわびの里づくりまつり

令和９年8月第一土曜日開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

磯魂民宿 いがわ

世界自然遺産 白神山地の入り口、眼下に広がる日本海の夕日

まごころの宿、新鮮料理が自慢です。
客室からは目の前に日本海が広がり、
夏の日の落陽の荘厳さは、
魚の旨さとともに、宿泊者の心に深く
刻まれることでしょう。



〒018-2605 秋田県山本郡八峰町八森字岩舘塚ノ台27
電　話：0185-78-2206
ＦＡＸ：0185-78-2207
定休日：不定休
ホームページ：https://qr.quel.jp/url.php



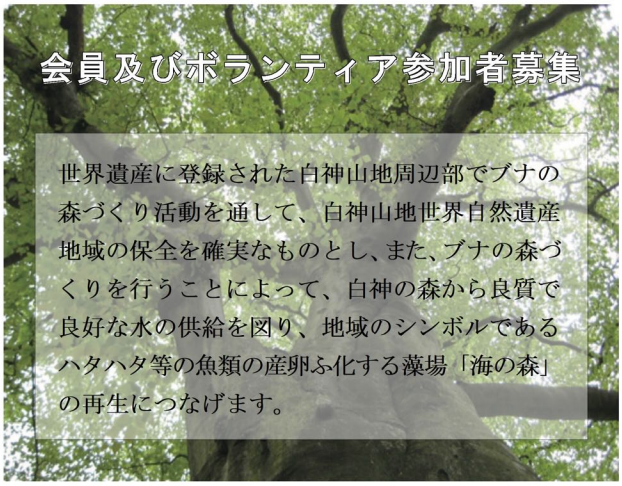
当センターは、海まで3分山まで3分と好立地条件で、自然体験、工作体験、食づくり体験などサポートします。宿泊もリーズナブルなお値段ででき全室オーシャンビューです。ぜひ一度おこしください。

〒018-2617　秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53－1
（JRあきた白神駅近く、ハタハタ館となり）
TEL 0185-77-4455 FAX 0185-77-4456
【問い合わせ時間】9:00～17:00
E-mail●shirakami-tc@town.happou.akita.jp　⇒
HP 検索　⇒　あきた白神体験センター

NPO法人

白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につきましては、下記までご連絡ください。



白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局
■ T E L：0185-77-3086
■ F A X：0185-88-8075
■ E-mail：shirakami.asna@gmail.com



八峰町産の酒米で造った酒を海外十二カ国に輸出しています。

白神山地の大自然と共に歩んで百有余年

白瀑・山本 山本酒造店

〒018-2678
秋田県山本郡八峰町八森字八森２６９
電　話　0185-77-2311　FAX　0185-77-2312
E-mail　info-shirataki@shirakami.or.jp


苦楽を共にする蔵人、数々の受賞歴は我々の誇り

株式会社 秋田アルス

【ゴム製品製造業】

色々な場所や物に使用され、皆様の生活を支えています！

自動車から電化製品・化粧品など幅広い分野で使用されています。



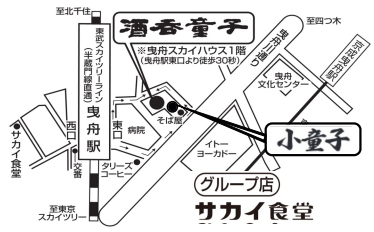


〒018-2675
秋田県山本郡八峰町八森字篭田３９番地
電話　0185-77-3051　　FAX　0185-77-3672



成　田
NARITA
ホームページ
https://narita-inc.com/



秋田料理
酒呑童子
ひゅ　てん　どう　じ
東京都墨田区東向島2-30-11
曳舟スカイハウス1F
TEL：03-3619-1676


秋田料理
酒呑童子
小童子
東京都墨田区東向島
2-30-11
東向島ビル2F
TEL：03-3612-4129

秋田民謡教室
楽しい民謡教室優しく教えます！


民謡　佐々盛会
会主
佐々木盛次
コロムビアレコード
（由利本荘市岩城出身・本荘高校卒）
〒213-0002　川崎市高津区二子3-5-18
TEL・FAX：044-811-6233
携帯：090-7176-5119

お住まい・不動産の事なら何でも・・・ご気軽にご相談ください！！
【不動産（売買・仲介・建替え）／リフォーム（内装・塗装・改築）】
株式会社日本住宅サービス
【代表取締役　佐々木信行／相談役　佐々木盛次】
ホームページ：https://nj-group.jp
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町１－14－1　ヒューリック神田須田町ビル３F
TEL：03－6687－3120　　Mobile：090－5418－0888
Mail：sasaki@nihon-jyuutaku-group.com

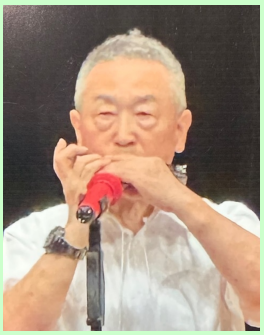
第18回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

☆開　催　日：令和8年11月15日(日)
☆会　　場：アルカディア市ヶ谷
☆受　　付：11時00分～11時30分
☆総　　会：11時30分～11時55分
☆休　　憩：11時55分～12時00分
☆懇　親　会：12時00分～15時30分
☆懇親会費：8,000円
　　学生：4,000円、小学生以下：無料
☆年　会　費：1,000円
☆会場へのアクセス
　地下鉄有楽町線・南北線　市ヶ谷駅　1またはA1出口
　地下鉄新宿線　市ヶ谷駅　A1またはA4出口
　JR中央・総武線(各駅停車)　市ヶ谷駅
※上記出口から徒歩約2分



特別ゲスト　　小田嶋　幸次
クロマチックハーモニカ演奏

≪プロフィール≫
高校生のときハーモニカソサィティー部に所属、ライトミュージックコンテスト・ジャズ部門で最優秀賞。その後（64音階を出音できる）クロマチックハーモニカに出会い、日本を代表するジャズクロマチックハーモニカ奏者・徳永延生氏に師事。現在、地区のハーモニカサークル所属、福祉施設でのボランティア、ソロ活動、LIVEと、いろいろなところで演奏活動をして楽しんでいます。この度も演奏依頼いただき、ふるさと会の皆様にハーモニカ演奏できることをとても楽しみにしています。



あふれる緑、大地と共に輝く未来

秋田やまもと農業協同組合

本　店　〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後270
TEL：0185-87-4600（代）　FAX：0185-87-4200
代表理事組合長　三浦　英樹

八峰支店　〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1　TEL:0185-76-3151(代)FAX:0185-76-3959
支店長　竹嶋　竜也



＜編集後記＞　本年6月23日に「八峰町誕生20周年記念式典」が行われた。2006年旧峰浜村と旧八森町の合併時の人口は9,012人。2026年7月末現在の人口は5,816人。約35%の減少。ちなみに秋田県全体の2025年の人口減少率は8.1%で全国No.1。合併時は小学校6校、中学校2校、現在は小学校2校、中学校1校。数年後には小学校1校への統合を検討中。そんな中でも、本誌4ﾍﾟｰｼﾞ掲載の若い元気な企業も登場しているのは心強い。八峰町在住者と離郷者の絆ともいえる『はたはた』。2010年の創刊号から17号のバックナンバーは右のQRコードで再読可能。(須藤)

八峰町関東ふるさと会　役員一覧

会　　長：戸田　眞里
副 会 長：須藤　正喜、丹波　テツ子
幹 事 長：芹田　忍
副幹事長：菊地　久美子、本多　義春
幹　　事：飯田　良子、庄内　俊憲
　　吉江　后子
監 査 役：麻木　固磨、船越　鉄実

ホームページ担当：白木　仁

八峰町関東ふるさと会事務局
〒253－0004
神奈川県茅ケ崎市甘沼880－9　芹田 忍 方
ＴＥＬ／ＦＡＸ　0467-54-2007　携帯　080-1002-3510

◆　発　　行：八峰町関東ふるさと会
◆　発行責任者：戸田　眞里
◆　編 集 委 員：須藤　正喜、飯田　良子、芹田　忍
　　白木　仁